

念仁波念遠入礼帖

芥川龍之介

青空文庫

燕雀えんじやくせい生といふ人、「文芸春秋」三月号に泥古でいこ残念ぜんねん帖ちやうと

言ふものを寄せたり。この帖を見るに我等の首肯しゆこうし難き事二三あれば、左にその二三を記し、燕雀生の下問を仰がん。

(一) 春台しゆんだいの語、老子に出でたりとは聞えたり。老子に「衆人熙々きき。如享たいらうをうけるがごとし太牢しゆんだいにのぼるがごとし。如登しゆんだいにのぼるがごとし春台」とあるは疑ひ

なし。然れども春台を「天子が侍姫たはむに戯たはむるる処」とするは何の出

典に依るか。愚考によれば春台は礼部の異名なり。礼部は春台のほか外にも容台とも言ひ、南省とも言ひ、礼れいとも言ふ。春の字がつ

いたとて、いつも女に關係ありとは限らず。宋の画苑ぐわえんに春宮秘

戯あそ図ある故、枕草紙を春宮とも言へど、春宮は元来東宮のことな

り。

(二) 才人を女官の名とするも聞えたり。才人の官、晉の武帝に
はしま創り、宋時に至つて尚之なほを沿用す。然れども才子を才人と称して
 も差支へなきは勿論なり。辞源にも「有才之人曰才人。なほさいしと猶言
 才子」とあるを見て知るべし。燕雀生は必しも才人と言つては
 ならぬと言はず、しかしならぬと言はぬうちにもならぬらしき口
うぐん吻あれば、下問を仰ぐこと上の如し。

(三) 佐藤春夫、「キイツの艶書の競売に附せらるる日」と題す
 る詩を賦ふしたりとは聞えず。賦すとは其事を陳ちんずるなり。転じて
 只詩を作るに用ふ。然れども、キイツ云々の詩はオスカア・ワイ
 ルドの作なれば、佐藤春夫の賦ふす筈なし。それを賦したと言はれ

ては、佐藤春夫も迷惑ならん。賦すに訳すの意ありや否や、あらば叩頭百拝すべし。

(四) 門下を食客の意とは聞えたり。平原君に食客門下多かりし事、史記にあるは言ふを待たず。然れども後漢書承宮伝に「過じよせいろをすぎけいをきくついにこうてもんかにとどまる

徐盛慮聴経遂請留門下」とあり。門弟子の意なるは勿論なり。然らば誰そのの門下を以て居るも差支へなき筈にあらずや。「青雲の志ある者の軽々しく口にすべき語にあらず」とは燕雀生の独り合がつてん点なり。

文芸春秋の読者には少年の人も多かるべし。斯かかる読者は泥古残念帖にも誤られ易きものなれば、斯かくて念には念を入れて「念仁波ねんにはねんをいれちやう念遠入礼帖」を艸すること然り。

大たいはう鵬生

(大正十四年四月)

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランティアの皆さんです。

念仁波念遠入礼帖

芥川龍之介

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>